

課題番号：H27-エイズ-若手-001
厚生労働省エイズ対策政策研究事業
ゲイコミュニティにおけるコホートの構築と
HIVおよび梅毒罹患率の推計に関する研究

研究代表者:塩野徳史（名古屋市立大学看護学部/MASH大阪）

名古屋市立大学 看護学部 看護マネジメント学
〒467-8601名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地
E-mail：shionos@med.nagoya-cu.ac.jp
siono3104@gmail.com
Tel：052-853-8059 Fax：052-853-8059

コミュニティセンターを 活用したMSM向け HIV抗体検査の取組について

第9回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会

日 時 平成28年3月23日（水）14:00～16:30

会 場 厚生労働省 専用第12会議室



community center for HIV prevention among msm in Japan

Area : Osaka

Center name : dista

Organized by : MASH Osaka



Area : Sendai

Center name : ZEL

Organized by : Yarokko



Area : Hakata

Center name : haco

Organized by : Love Act Fukuoka



Area : Tokyo

Center name : akta

Organized by : RainbowRing



Area : Nagoya

Center name : rise

Organized by : Angel Life Nagoya



Area : Okinawa

Center name : mabui

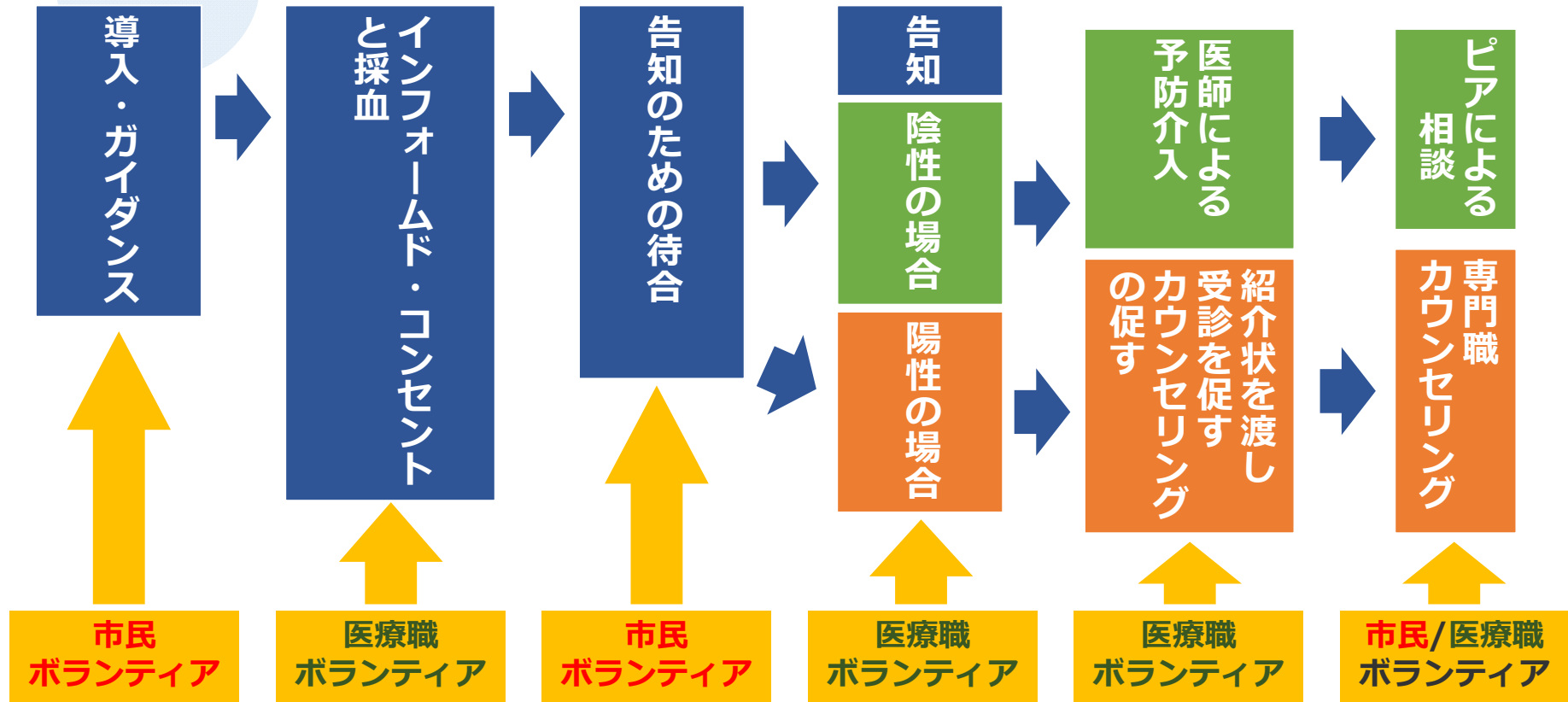
Organized by : nankr



これまでMASH大阪が関わった 検査関連プログラム

	SWITCH	クリニック検査	MaQ @PLuS+ FINAL	club3rd 郵送検査
実施	2000年-2002年	2008年-2015年	2010年	2011年
背景	予防に無自覚な層は検査情報も持たない	戦略研究で公衆衛生研究所との協同検査機会の減少	SWITCH以降、過去1年間受検率30%	検査機会の減少
内容	HIV抗体(迅速法,PA法,WB法) HBV(抗原,抗体) 梅毒(TPHA法,RPR法)	HIV抗体、HBs抗原 梅毒抗体、HCV抗体 クラミジア抗原	HIV抗体 (迅速スクリーニング検査) + 確認検査 (PA法,翌日結果返し)	HIV抗体 (迅速スクリーニング検査)
	あったかいコミュニティ的雰囲気 の中での検査。 翌日結果返し。	治療アクセスの容易なclinicの検査。 生活時間に合わせて受けられる検査。	イベント会場での迅速検査 の導入。	郵送検査キットを確認の上でイベント来場者に配布。
-Concept-	検査を通じての予防介入。 相談支援体制を組み入れた検査モデルの構築。	性的指向にとらわれず、安心して受けられるclinicをコミュニティに浸透。	HIV感染リスクは高い未受検者が「いる場所に出向く」検査。	
HIV陽性率 (陽性者数/受検者数)	‘00年 -2.4%(6/245) ‘01年 -3.3%(13/395) ‘02年G -0.7%(1/148) ‘02年夏-1.3%(2/152)	‘08年-5.9%(1/17) ‘09年-4.4%(12/272) ‘10年-5.7%(15/263) ‘11年-3.2%(6/189) ‘12年-夏2.6%(6/236) 冬5.0%(10/202) ‘13年-夏2.7%(6/222) 冬 ‘14年-夏 冬 ‘15年-夏 冬	3.6%(6/169)	5.5%(5/91) 判定不能10人
土曜常設HIV検査事業の目標 自発的に検査を受けようとする誰もが批判されことなく安心して利用できる環境を整え、利用者の状況に即した感染リスクの軽減を支援、必要に応じて医療・相談機関を紹介				

SWITCH 2000-2002



血液検査 = 大阪府万代診療所/大阪府立公衆衛生研究所

場の設定 = 大阪市担当官 + クリニック

臨時検査イベントのデザイン = 疫学研究者 + 医療職ボランティア + NPOワーカー

イベント全体のデザイン = 当事者を含むNGOワーカー

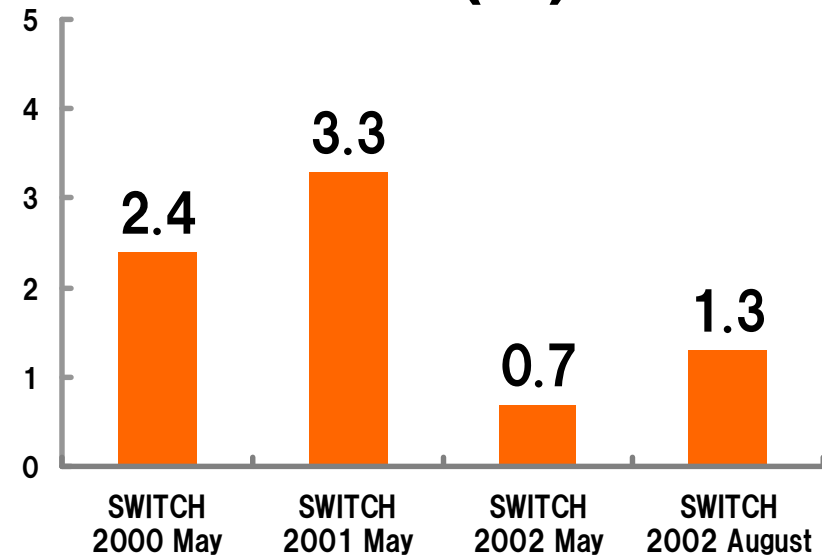
SWITCH

2000-2002

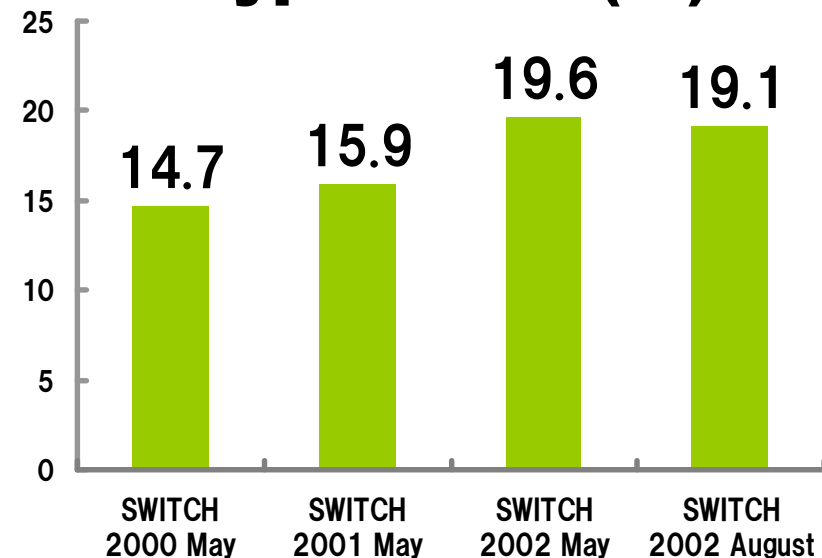
OUTCOME

1. セクター間連携による臨時検査イベントのモデルを構築した
2. 大阪在住MSMにおける受検率を押し上げた
3. ゲイコミュニティからの信頼を得た
4. クライアントのHIV/STI感染状況を知りえた

HIV(%)



Syphilis TPHA(%)



商業施設利用者への介入 dista でピタッとちえつくん

商業施設の多い堂山で、
利用者の多い時間帯に
検査を実施することで、
検査をランドマーク
(検査を実施しているという
そのこと自体がメッセージ性
をもつ) とすることを目的として実施。

-既存の検査機会との違い-

- ゲイコミュニティに向けたメッセージとしての検査会であり、検査機会の拡大が主要な目的ではないこと。
- 検査自体はオープンスペースで実施するが、HIV感染のカミングアウトの状況やHIV感染に対するスティグマを考慮し、検査結果は個人情報として扱うこと。
- 専門的な技術や知識を要する検査運営・管理は、行政が担う公衆衛生の役割であると位置づけ、行政との磐石な協働体制を構築すること。

検査実施日時・期間について

- 4日間の実施は、**採血者、医師の確保、専門職者等への謝金、会場の確保等の予算や調整**が難しかった。
- そこで段階的に実施することにし、最初の段階として3日間の実施を目標にすることで**コンセンサスを得た**。
- また連日での実施か、毎月1回の実施とするかも検討事項であったが、**マンパワーの確保やコミュニティに対するメッセージ性**を考慮して、毎月1回の実施とした。
- 先行研究で明らかになっているニーズを考慮し、土日または平日夜間とした。そこで本年度は月曜夜間、土曜日、日曜日と曜日を変えて実施することにした。
- 実施後、**開催日時と受検者数・受検層の関連を評価する**べきであると考えた。

dista でピタッとちえつくん 検査実施日時・期間

商業施設の多い堂山で、
利用者の多い時間帯に
検査を実施することで、
検査をランドマーク
(検査を実施しているという
そのこと自体がメッセージ性
をもつ) とすることを目的として実施。

第1回目

採血日：8月31日（月）15：00～19：00

結果通知日：9月7日（月）15：00～19：00

第2回目

採血日：9月27日（日）14：00～18：00

結果通知日：10月4日（日）14：00～18：00

第3回目

採血日：10月17日（土）14：00～18：00

結果通知日：10月24日（土）14：00～18：00

さらに3回の実施状況をふまえ、振り返りを行った後に、
予算と人材を調整し1月に第4回目の検査会を追加で行った。

第4回目

採血日：1月16日（土）14：00～18：00

結果通知日：1月23日（土）14：00～18：00

気分不良者への対応

- 受付
- チェックシート記入
- ピタツとちえつくん
- 簡易ガイドダンス
- 結果お知らせ予約

4枚複写

チェックシート

15分間隔

採血

止血確認

アンケート記入

検査概要

場所:

スクリーニング

保健衛生検査所

エスブラインHIV Ag/Ab(第4世代)

セロディアHIV -I/2 (第3世代)

梅毒検査用SST抗原トロヤン

エスブラインTP

確認検査

環境科学研究所

ウェスタンブロット・PCR

種類: HIV抗体検査

梅毒抗体検査

● 受付

15分間隔

★山西福祉記念会館
★TKP大阪梅田駅前
ビジネスセンター

● 結果お知らせ

検査結果の封筒と申込書が
同じであることを本人にも
確認してもらい、本人が
部屋で開封

陰性の場合

陽性の場合

保健師による
予防介入・相談

紹介状を渡し
受診を促す
の促す
カウンセリング

告知1ブースを使う事を基本とする。
医師より告知・発生届・紹介状作成。
医療機関への予約は当日取れない為、
連絡先を確認し、週明けに予約を取る、
もしくは本人に予約してもらう。

専門的
カウンセリング

結果は大阪市に知ら
され、後日、大阪市
からMASH大阪に共
有される。

結果告知の考え方

- 結果告知は**MSMにおける陽性率の高さ**やコミュニティセンターdistaのキャパシティを考慮し、確認検査をふまえた結果を1週間後に告知することにした。
- 検査自体は**オープンスペースで実施**するが、HIV感染のカミングアウトの状況や、**HIV感染に対するスティグマを考慮し、検査結果は個人情報として扱う**必要がある。そのため結果告知時には、当事者に近いMASH大阪のスタッフが対応することは避け、陽性結果であった場合の状況を考えてプライバシーを十分に確保できる個室を準備し、支援体制や受診機関との連携体制を事前に整えた。
- 利用者が**結果を受容するために十分な時間**を確保し、**他の利用者と顔を会わせる機会を極力減らす**ために、結果告知時間を1人15分～30分と想定し、受付1室と個室4室を準備した。受付では医師やカウンセラーが待機した。

連携体制の構築と採血の動線



- ❑ 検査会は大阪市保健所の移動診療として扱われるため、医療行為にかかる従事者は大阪市保健所職員もしくは保健所が雇いあげする職員に限定される。従事する人数を考えるとHIV担当者だけでは難しく、**所管課全体でHIV対策に取り組む**ことを再確認した。
- ❑ 設定されている結果告知日時に来られない受検者への対応として、北区保健福祉センター等の通常検査結果告知日を案内できるように、北区保健福祉センターへも事前に協力を依頼した。
- ❑ 協力が必要な機関として、大阪市立総合医療センターやHIV陽性者への支援に実績のある特定非営利活動法人CHARM 特定非営利活動法人ふれいす東京があり、大阪市保健所とMASH大阪が手分けして協力を依頼した。
- ❑ 事故防止のため受検者の動線を工夫し、**①受検者が何度も行き来するような動線はとらないこと、②採血するスペースを広くし接触などによる事故を防ぐ**ようにした。配置については現地視察など綿密な打合わせを数回行った。

受付の風景



採血の風景



ゲイコミュニティ利用者
コミュニティセンター利用者

利用者に研究参加依頼
⇔指紋情報を登録(指紋認証)
⇔暗号化してID発行

無料・匿名
検査会

- ・保健師・CBOスタッフから説明し依頼する。
- ・検査結果はID登録に関わらず伝えられる。
- ・HIV抗体検査、梅毒抗原抗体検査



指紋認証機器

・PC端末は独立

HIV陽性者支援・通訳CBO



指紋情報
↓
ID発行

医療受診
支援

協力・連携

アンケートに回答し封緘して回収箱に投函

MASH大阪

大阪市保健所
(保健衛生検査所)

IDと検査結果

HIV エスブラインHIV Ag/Ab(第4世代)
セロディアHIV -I/2 (第3世代)
梅毒 梅毒検査用SST抗原トロヤン
エスブラインTP

HIV確認検査
ウェスタンブロット
+PCR

共同研究体制

名古屋市立大学

大阪市立
環境科学研究所
(確認検査)

IDと検査結果を
研究代表者のみに伝達

MASH大阪から**未開封**で
ID付アンケートを送付

研究班事務局

IDとアンケートを入力

統合

アンケート内容と検査結果
IDを連結

*MASH大阪にはIDと
連結しない形で総数
の結果を共有

広報



- ① 検査の必要性やHIV感染の動向
- ② 保健所と同じ方法で無料・匿名の検査がdistaで受けられる
- ③ 予約不要であるが、人数が超過したときはお断りする
- ④ 梅毒検査も一緒に受けられること
- ⑤ 当日、夕方5時からdistaは通常通り利用できること
- ⑥ 検査についての疑問や不安があるときの相談先



ホームページでは...

研究目的としてコミュニティの中の感染動向を把握するため指紋認証の方法

「HIVとエイズの違い」「HIV検査の種類」「ウィンドウ・ピリオド」「性感染症」「HIVの感染がわかった時」「Safer SEX」などの基礎知識

検査の流れの中に検査不安や感染不安を抱える場合の相談先を紹介

HIV感染のリアリティを涵養：**HIV感染者や周囲の人の手記**（特定非営利活動法人ふれいす東京ホームページ）や、**HIV感染後の生活に関する統計的な情報**（Futures Japan HIV陽性者のための総合情報サイト）を紹介

その他



□ 在日外国人の利用を想定し、**英語・中国語の通訳**を特定非営利活動法人CHARMに依頼した。

□ MSMにおける生涯受検割合は高く、**再受検者も多いことを前提に、検査に対する敷居を下げる工夫**として、事前チェックシートを作成し、検査受検に必要な最低限の内容とした。

□ この事前チェックシートは保健師ガイドンスで活用された後は、**情報として利用者自身で保管する仕組み**とした。

"dista de ヒタッとちえつくん" 検査チェックシート

以下の内容を確認して、チェックをお願いします。

1. ウィンドウ ざりオドについて
この検査では8週間前までの感染の有無がわかります。
ウィンドウザリオドについて理解できましたか？

HIV抗体検査では、感染した血液中にHIVを形成する「抗体」。
HIVに感染する「抗体」を血液から検出する検査方法です。
HIVに感染すると、体内でHIVが増え、その結果HIVが増える「抗体」が作られます。
血液検査で「HIV陽性」と判定された場合は、感染が確定したと見なされます。
なので、正確な検査結果を知るためには、感染が疑われるセックスをしてから8週間たって
検査を受けることが必要になります。
このように、感染してから検査ができるまでの8週間間の期間のことを「ウィンドウザリオド」といいます。

☐ あかった / ☐ しくしく聞く

2. HIV検査のしきい値について
本日の検査の流れについて理解できましたか？

HIV抗体検査は、スクリーニング検査と確認検査という2段階の検査で構成した検査となります。
まずは、スクリーニング検査でHIVに感染しているかどうかの初め検査を行います。
スクリーニング検査で陽性反応が出た場合は「HIV陽性疑念（HIVに感染している）」とします。
反応が出た場合は、今度は確認検査を行います。確認検査は、検査をしてから結果の通知までに1週間かかります。
そこで陽性の場合は、「HIV陽性疑念」とします。通常の検査では、検査をしてから結果の通知までに1週間かかります。

☐ あかった / ☐ しくしく聞く

3. ちゅうしんのけいけんについて
これまでに、注射の針や血を見て具合が悪くなったたりした事がありますか？

気分が悪くなった人たちの休憩スペースがあります。血のときに気分が悪くなった場合はスタッフへお伝え下さい。

☐ ない / ☐ ある

真面に答えて下さい。

4. リンカでできる相談について
大阪で利用できる相談について理解できましたか？

対面相談、電話相談、メール相談などがあります。
検査の結果が「HIVに感染している」と分かれば、検査機関で相談をしたり、
病気の紹介を受けて、これからの生活について考えることになります。
その上で不安なことや悩んだことがある場合は相談できる機関が用意されています。
そういった相談機関には本人だけでなく、親の人も利用できます。お気軽に相談してください。
また、対応での相談や電話相談などもありますが、自分の利用しやすい相談方法や時間を選べるようになっています。また、検体者本人の同意が得られる方法でのミーティングやWEBサイトなどもあるので、
相談や検査などがないと利用できます。

相談先について
Community center dista
検査結果についてわからない、相談や心配がある、そんな方はご相談ください。電話相談と対面相談を併せて
います。相談員にはタイの人もいます。
住所：大阪市東区山崎 17-5 栄ビル 4F ☎ 06-6361-9300(本線) 月曜~月曜 17:00~22:30(火曜休館)
☎ 06-6358-0638(1月線-本線 午後5時~午後9時(夜間))
web: www.charm-japan.com/hiv-support/line/

☐ あかった / ☐ しくしく聞く

5. けっかの受け取りについて
検査の結果は、
10月24日、TKP 大阪梅田駅前ビジネスセンターで受取る事ができますか？

今日の検査結果は、受け取りの予約をした時間までに決まるようになります。
この日、受付で検体番号を予約してください。
もし、予約に間に合わなかった場合は、近所にある検体センターで結果を受け取る事が可能ですが、
その場合はあらかじめ予約を取る必要があります。
大阪府検体センター ☎ 06-647-0057 月曜 9時~夕方5時、
大阪府検体センター ☎ 06-6361-9300 火曜 9時~夕方5時~夜11時、ご連絡ください。
またはコミュニティセンター ☎ 06-6361-9300 火曜 9時~夕方5時~夜11時、ご連絡ください。

☐ あかった / ☐ しくしく聞く

全てのチェックが終わりましたら、受け取りの予約に進んで下さい。

事前チェックシート



	1回目 8月	2回目 9月	3回目 10月	4回目 1月	計	2014年度
受検者数	25人	27人	23人	52人	127人	60人
初利用者	25人	26人	22人	44人	117人	
指紋登録者数	24人 (96%)	22人 (84.6%)	18人 (81.8%)	28人 (63.6%)	92人 (78.6%)	-
結果受け取り	25人	24人	22人	51人	122人	59人
HIV陽性判明数	0人 (0.0%)	3人 (11.1%)	4人 (17.4%)	0人 (0.0%)	7人 (5.5%)	1人 (1.7%)
梅毒受検者	24人	26人	22人	52人	124人	
梅毒陽性判明 数(要治療)	0人 (0.0%)	2人 (7.7%)	3人*重複 ¹ (13.6%)	0人 (0.0%)	5人 (4.0%)	2人 (3.3%)
梅毒陽性判明 数(既往含む)	2人 (8.3%)	3人 (11.5%)	3人 (13.6%)	2人 (3.8%)	10人 (8.1%)	-

図1 受検者の特性-年齢層

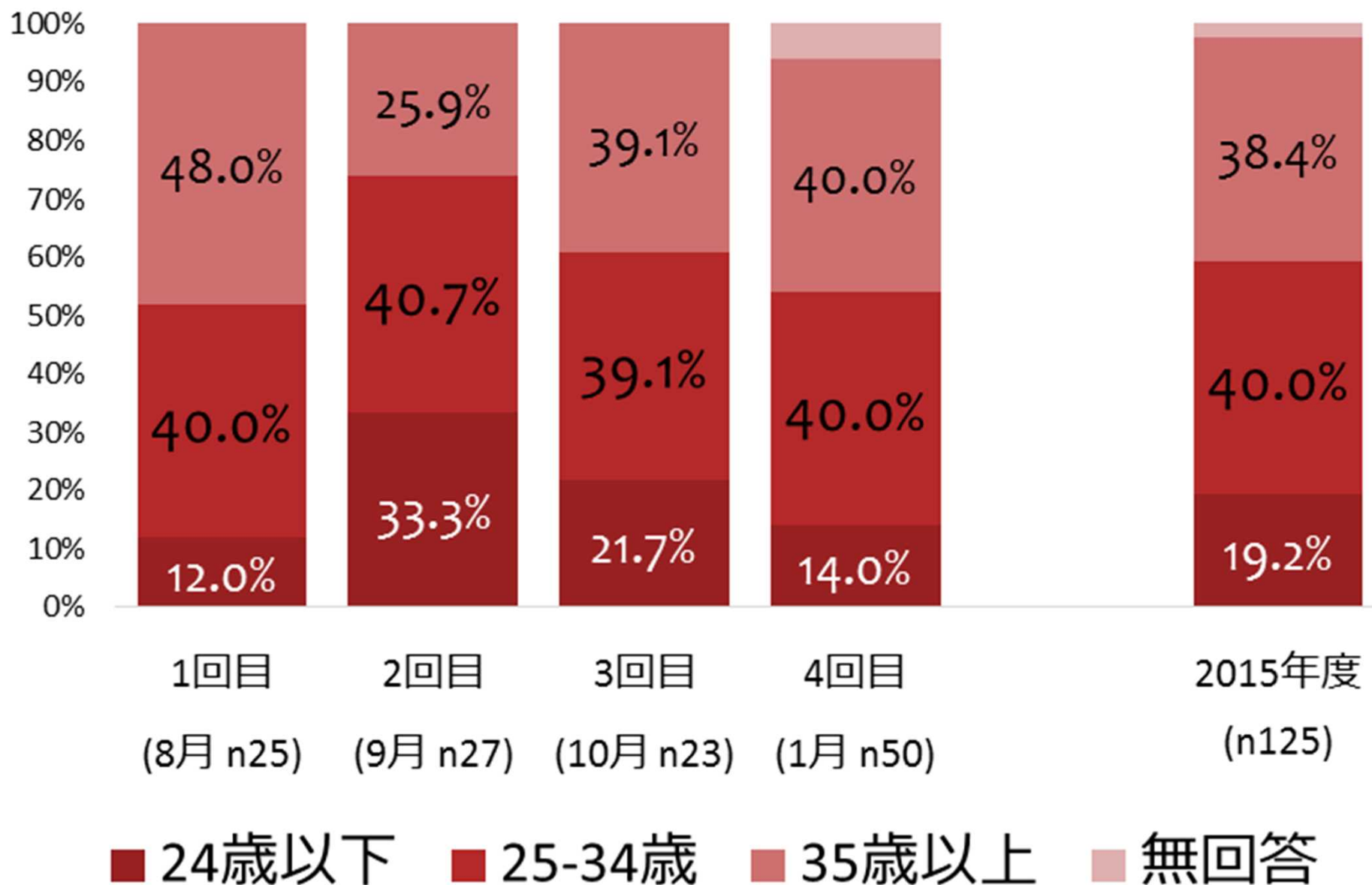


図2 受検者の特性-性的指向

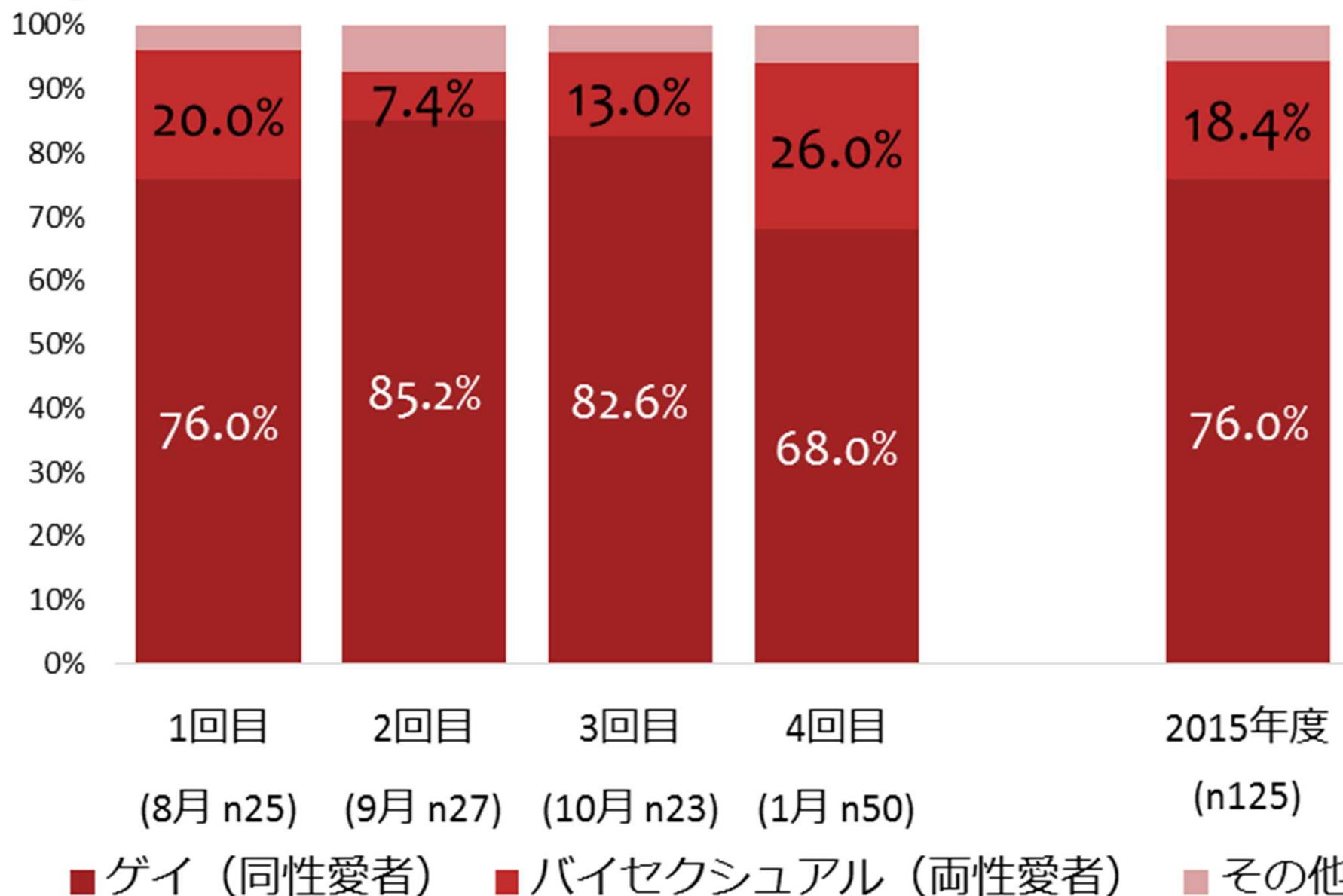
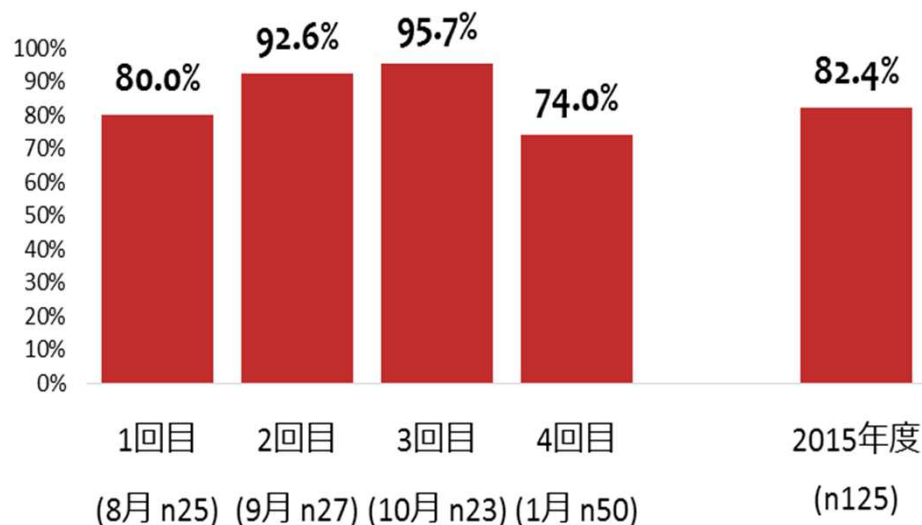
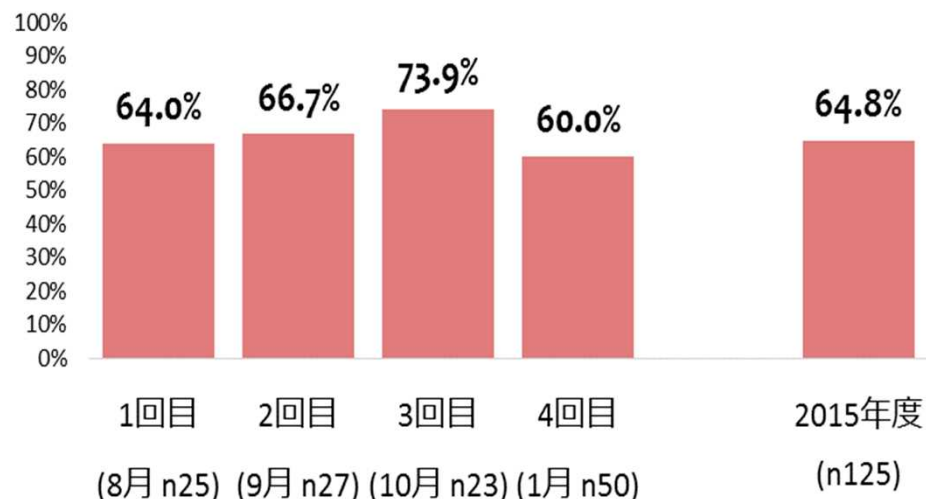


図3 受検者の特性-利用施設など

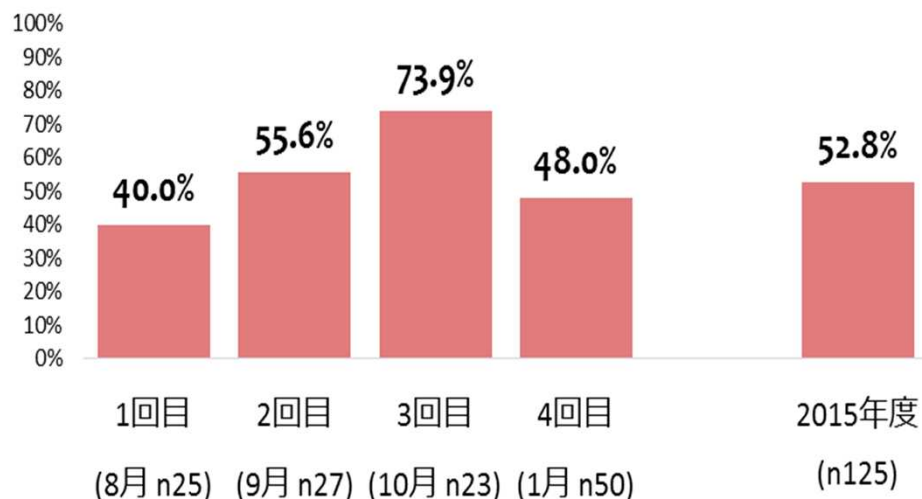
過去6カ月間の商業施設利用



過去6カ月間のゲイバー利用



過去6カ月間の有料ハッテン場利用



過去6カ月間のゲイ向けアプリ利用

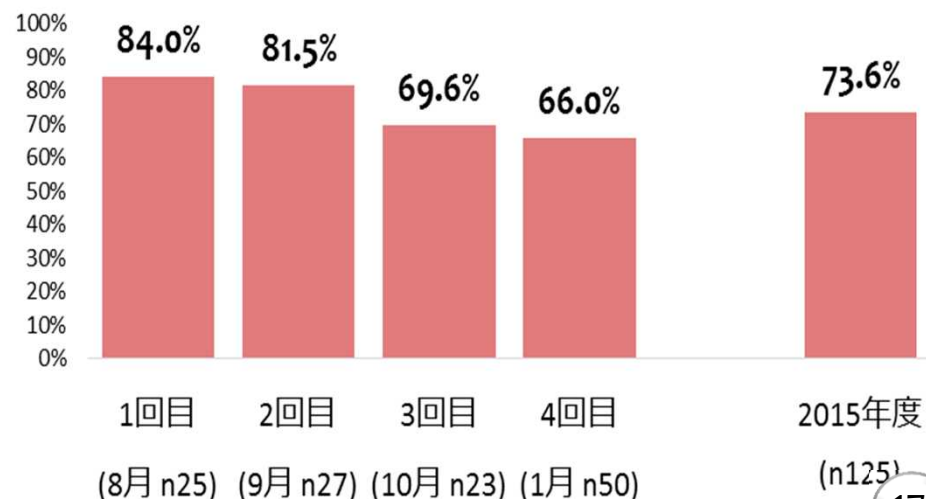
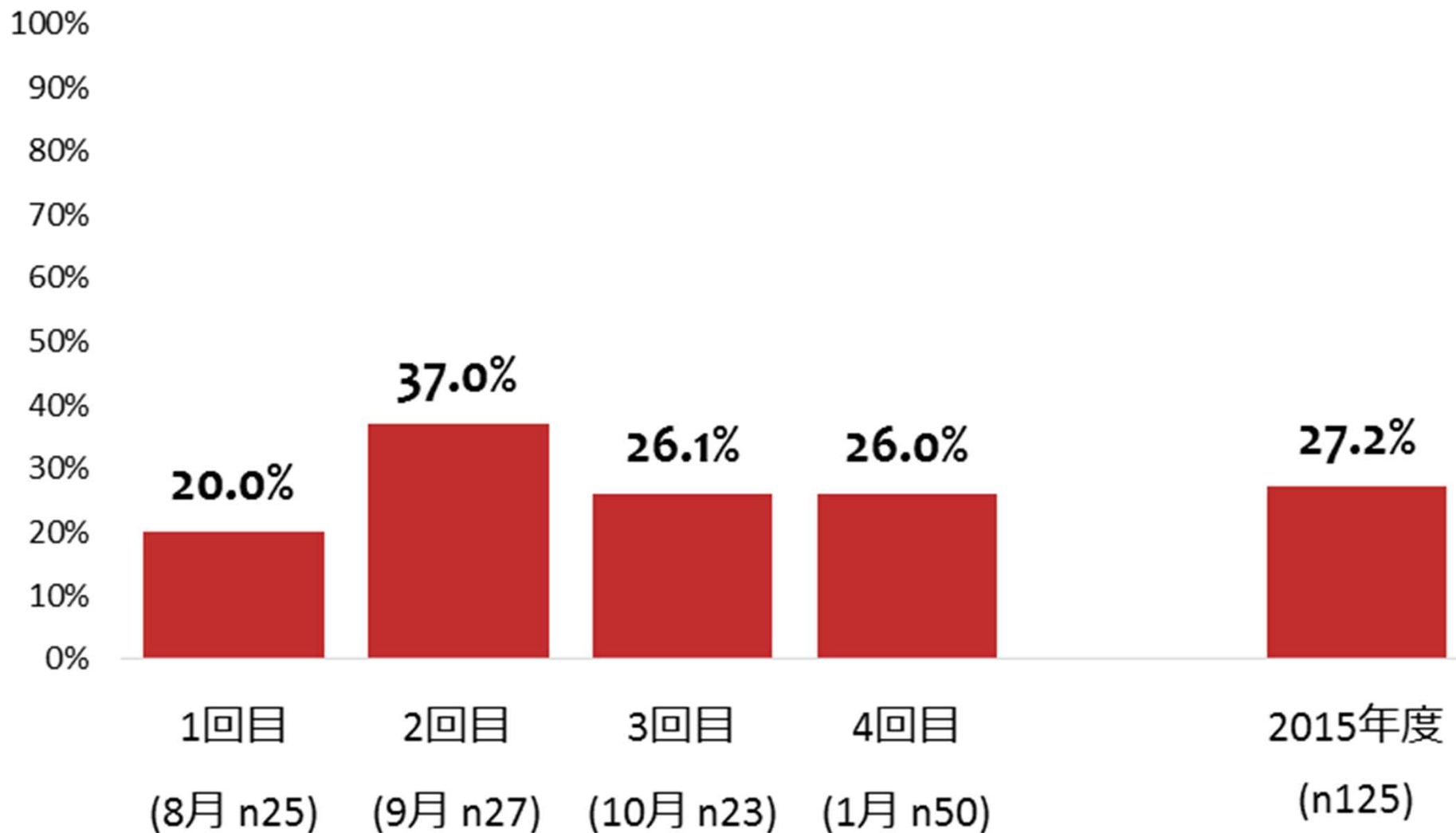


図4 受検者の特性-初受検者割合



まとめ

□ 累計で**受検者数127人** 指紋登録者割合78.6% 結果受取割合96.1%
HIV陽性判明5.5% 梅毒陽性・要治療判明4.7%

□ 特に3回目の検査会は受検者数は23人と少なかったものの、**HIV陽性判明者17.4% 梅毒陽性・要治療判明者13.6%**であり、利用者属性の中でも、過去6カ月間の商業施設利用割合が95.7%と極めて高かった。

□ 継続的な実施で、**コミュニティに検査会が浸透し利用者は増加する**と考えられる。また、**検査会の浸透にともなって検査行動の規範が変容する**ことを期待したい。そのためには次年度以降、大阪市保健所だけではなく他の地方行政とも協力体制を構築し、検査会の機会を増やしていけることが望まれる。

MASH大阪 / community center dista
大阪市北区堂山町17-5 巽ビル4F
Tel : 06-6361-9300 (15時 - 22時半)
mail : office@mash-osaka.com

課題番号 : H27-エイズ-若手-001 厚生労働省エイズ対策政策研究事業
ゲイコミュニティにおけるコホートの構築とHIVおよび梅毒罹患率の推計に関する研究

研究代表者:塩野徳史 (名古屋市立大学看護学部/MASH大阪)
〒467-8601名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地
E-mail : shionos@med.nagoya-cu.ac.jp siono3104@gmail.com
Tel : 052-853-8059 Fax : 052-853-8059

